

語学週間報告

フランス語週間

コース主任 阿南婦美代

2006年11月1日～7日
フランス語フランス文化コースでは、2001年の11月にフランス語週間を開始しました。これは、フランス語を学んでいる学生が毎日テーマ(料理、スポーツ、伝統文化など)を決めて調査し、自ら体験し、また外部にも広く紹介しようというものです。2006年度は第6回を実施しました。活動テーマごとに担当を決め、一週間を盛り上げます。1年生から4年生までが参加し、学年を越えて協力合います。

フランス語週間のスタートはもちろんな料理、指導をフランス料理のプロの方にお願いし、担当者が試作を実施し、当日80食程の昼食を用意します。今年もおいしい料理が出て来上がり、学長や理事長、教員も学生と一緒に食事を取るよい機会でした。



一週間継続する行事はポスターとフランス

の写真展示ですが、ポスターは学生が関心のあることについて調べたもの、写真は留学中に撮った写真を地方別やテーマ別に分類して展示します。人気のある写真をポスターカードにして販売すると、すぐに売切れます。

フランス語週間ではこの行事の成功のために、学生たちが話し合い、工夫し、協力しています。その努力の中で学ぶことは大きく、学生たちは自らの成長を実感しているようです。

フランス語週間の締め括りは学生たちの企画するスペースタクフルと終了式。フランス語教員は学生たちを表彰する賞を用意します。当初は教員が学生に賞をあげましたが、大賞完成年度の4年生の希望で、上級生が下級生に賞をあげることになりました。賞には、出版社などの協力をお願いしています。参考書や辞書のプレゼントにフランス語を始め、たばかりの学生たちは「フランス語の勉強を一層頑張ろう」と思うようです。

教員主導で始めたこの行事は今ではすっかりコースの学生たちの行事として成長し、定着しています。

中国語週間

中国語中国文化コース
コース主任 三枝 裕美

2006年11月2日～4日
二〇〇六年度中国語週間は、コース内の上級生と下級生のふれあい、中国語の能力の向上、コース外の学生への中国紹介を主旨として、二〇〇六年十一月二、三、四日、十六日に行われました。

- 実施項目…
- 1) 学習の体験談、留学の体験談、コンクールの体験談、「漢語橋」ビデオ上映
 - 2) 中国語コンクール
 - 3) 中国映画上映 「中国雑技精華」、「太極張三豊」
 - 4) 中国の都市の紹介ビデオ放映
 - 5) 文芸表演 四年生の歓送別会 歌、踊り、詩の朗読
 - 6) 講演会 中国語の面白さ
- 長崎大学教授 楊 晁安
とりわけ中国語コンクールでは一年生十三名、二、三、四年生各三名、計二十二名もの多数の発表があり、高度な内容に挑戦し、学習の成果を披露してくれたことが印象に残りました。四年生の歓送



別会での歌や詩の朗読等も熱心に準備していたことが見てとれました。講演会の話もたいへん面白く、知的刺激を受けていたようです。

ドイツ語週間

ドイツ語ドイツ文化コース
コース主任 山口 慶子

2007年1月15日～19日
ドイツ語コースでは年間いくつかの大きな行事を行っています。講演会、伊王島研修外語祭、ドイツ語検定などですが、1年の締めくくり、一番最後に行うのが「ドイツ語週間」です。1月中旬の4日間、ポスター展示、映画上映ゲーム、カーニバル仮装大会ドイツ・ランチなどのプログラムを実施しています。

1月中旬は学年末の定期試験直前なのですが、そんなことはものともせず学生たちは4日間を思いっきり楽しみます。(試験も頑張ります!)

本学一階のラウンジには、学生たちが作成したポスターが所狭しと飾られます。ドイツビールから哲学者の素顔まで、一通り目を通すと、ドイツについてどんなテーマでも一応の蘊蓄を披露することができるとなるのは間違いありません。

ベニスのカーニバルは日本でも有名です。ドイツでは多

分ケルンのカーニバルが最も有名でしょう。私たちのカーニバルはドイツ流に做って、仮装、男性のネクタイカット、教室での飴撒きなどをします。今年の仮装の色は、シャイロック・ホームズ(ドイツ語若手教員)、セーラー服に馬の被り物(女子学生)、生まれた国がまったくわからなくなる顔のペインティング(ほぼ全員)、などなどでした。

仮装は見る人よりやっている本人が一番楽しむものです。ね。



最終日には和やかにドイツランチで談笑します。今年のメニューは、サーモンのテリーヌ、鶏のフリカッセ、チョコレートケーキでした。おいしいものを食べ、幸せな気分でもた来年頑張りますようにと気持ちを新たにします。

異文化を体感する4日間で、さらにドイツが身近になる、そんな期待で毎年ドイツ語週間を実施しています。今後ますます発展させて、誰もが知る外大の名物行事にしたいとコース一同願っています。

『長崎外大論叢』第一〇号

『創立六十周年記念号』

長崎外国語大学・長崎外国語短期大学では、教員の研究成果を広く内外に紹介するため、毎年『長崎外大論叢』を

○号を数え、また六十周年記念号として多くの教員が寄稿しています。巻頭には本学と



社大名誉教授の手になる本学創立六十周年記念式典での記念説教をおさめ、以下本学教員二十九名の論文を掲載して約四百頁という刊行以来最大の容量となりました。

です。寄稿者一覽(掲載順、職名・所属は発刊時点のもの)
緒方純雄同志社大名誉教授、相澤興一教授、新井信之教授、磯部靖助教授、井上亜依講師、大岩秀紀助教、岡部悦子講師、加島巧教授、木原直美講師、後藤靖宏教授、小島居伸介教授、小西哲郎宗主任・助教、三枝裕美助教、堺雅志助教、関きみ子講師、高橋美知子講師、藤内則光助教、松本充豊助教、山川欣也教授、横山悌志教授、池玉杰リチャード・J・ホドソン講師、川島浩勝助教、ロレッタ・ロレンツ教授、セバスチャン・S・フラノ講師、サイモン・G・ウィルキンス講師、クラウディア・マラ助教、マリー・ルース講師、ミゲル・アヤラ講師

語学コンクール入賞者紹介

本学では、学生に積極的な語学コンクールへの参加を勧めています。コンクールは、「語学力」が「人間力」へ変わる一端を経験できる良い機会でもあります。本学の学生は様々な語学コンクールで活躍しています。(学年は2006年度)

- 館他) 主催
- 優勝 仁田野舞子さん(三年)
- 二位 倉松 宏美さん(三年)
- 四位 川原 拓也さん(三年)
- 関西フランクフォオ二一祭の一環として開催された弁論大会です。昨年の本学学生の優勝に引き続き2年連続優勝者を出す快挙となります。また参加した三名全員が入賞し、本学のフランス語教育を全国に示す結果となりました。

第二七回 長崎県中国語コンクール

二〇〇七年三月十八日(日)開催
長崎県日中親善協議会主催
上級・最優秀賞 福島 彩子さん(三年)

初級・優秀賞 和田 秋奈さん(一年)

和田さんのコメント 老若を問わず色々な方が出場していて、高度な内容に大きな刺激を受けました。準備には寮に在る留学生にも協力してもらいました。今後一層努力して中国語の力を伸ばしていきたいと思えます。
(福島さんのコメントは次号掲載予定です。)

『あの人は今』~同窓生、教員の顔

▶▶▶同窓会会長 吉田親生さん



今回紹介するのは、1954(昭和29)年卒業の3期生で、本学を卒業した11,325名を束ねる同窓会会長の吉田親生さん。現在、(株)酒の吉田屋取締役会長として長崎県内外で広く活躍中である。吉田さんは、卒業後は、早逝されたお父上に代わって家業を継いで、時代の流れに即応した経営基盤の充実に努力を重ね、年商10億を上げる企業へと成長させた。吉田さんは生まれも育ちも長崎市で生粋の長崎っ子である。有名な新地中華街近くの籠町にある社屋は、吉田さんが40歳の時に建てたそうで、その後増築されて現在の自宅兼会社ビルとなっている。代々地域に根ざした活動を続けられ、広場場商店街振興会長及び長崎市商店街連合会常務理事として全市的な連携を図り、長崎市消防第12分団会長として、長く地域の防火・防犯等安全と安心を守るために奉仕されておられる。2月のランタン祭りでは近くの新地湊公園が会場になることもあって、裏方として祭りを支え、出店を出す留学生には電気・水道などを無償で提供している。さらに長崎っ子の血を沸かす長崎くんちでは、踊町として籠町の「籠踊り」を守り、その



伝統を子、孫へと引き継ぎ、ご自身もなお若い血をたぎらせておられる。ご自身は“無口で小心”と謙遜に自己評価されるが、話す声は大きく、語る言葉は人生の辛酸を知り尽くした者の含蓄のある話しぶりで周囲を鎮かせる。ご自身は根っからの仏教徒と称されるが、地域の奉仕や活動のありようを拝見するにつけ、かつて長崎外国語短期大学で学ばれた時のキリスト教主義教育の建学の精神がそのまま“世の光、地の塩”の人生として体現して生きておられることを強く感じさせられた。ご趣味はゴルフで、ゴルフ歴46年と言う。ゴルフ愛好者なら誰でも羨望のシングルプレイヤーを43年間維持し続け、現在でもなおハンディ9の腕前を誇っている。企業の益々のご繁栄と吉田会長のご健勝を祈りたい。



PS:ご長男で(株)酒の吉田屋代表取締役である淳介氏はフランスからシュバリエ・ド・パン・ド・カステイヨンの称号を認定され、奥様共々日本ソムリエ協会認定ワインアドバイザーであることはよく知られている。
(取材と文は事務局土井、写真は吉田会長提供)

一九七九年の長崎 上海間定期航空路開設を記念して、八〇年から毎年開催されています。初級と上級に分かれて課題文の暗唱やスピーチ、質問員との会話が総合的に審査されました。

アンペロス通信

アンペロス寮は長崎外国語大学・短期大学の女子学生寮です。自宅を離れて学生生活を送る学生たちのために、大学・短期大学キャンパスの隣接地に設けられています。全国各地から集まる仲間たちと交友し、互いに刺激を受けながら規律正しく過ごす寮生活は、とても充実した一生の財産となることでしょう。

アンペロス寮では、交流の場ということと同時にプライバシーについても配慮されています(全室ワンルームマンション形式の個人部屋)ので、一人の時間も有意義に過ごすことができます。

アンペロス寮(女子学生寮)

名前の由来について アンペロスとはギリシャ語で「ぶどうの木」という意味です。聖書に記された内容に由来するもので、みなさんが豊かで実りある学生生活を送れるように、という願いが込められています。

施設の概要

1階/事務所(受付)・コミュニティホール(テレビ・新聞・公衆電話・光通信パソコン4台設置)・食堂・自動販売機・コインランドリー・メールボックス・掲示板		合計328個室
2階~6階/居室	各階46個室	
7階/居室	42個室	
8階/居室	34個室	
9階/居室	22個室	

室内設備(全個室)

ベッド(引き出し付) 机、椅子、カーテン、ユニットバス、トイレ、流し台、電気コンロ、電話、下駄箱、クローゼット、冷暖房(エアコン) 光熱費・電話料は本人負担

インターネット

各部屋からインターネットに接続できます。どんなに使用しても月額1,000円です(インターネット接続時に使用する電話料を含む(任意))。プロバイダー契約も不要で、非常に格安で有利に利用できます。

情報収集・就職活動等に変便利です。ぜひ活用してください。

事務局

年間24時間体制で職員を配置しています。病気対応はいつの時間帯でもできます。また、宅配便等の受取や発送もしています。そのほかさまざまな事態に対応して、寮生活を送るみなさんに安心を提供しています。

食事

管理栄養士の献立表にもとづいて、専門コックが食事を作ります。準備しているのは朝食と夕食で、いずれもバイキング形式となっています。

朝食時間	平日 AM 7:00~8:30 土曜 AM 7:00~8:30 日曜・祭日 AM 8:00~9:30
夕食時間	(毎日) PM 6:00~PM 8:00 時間外食事 PM 11:30まで可能

諸費用

入寮金	60,000~30,000円(入寮時返金不可) 所属年次によって入寮金が異なります
寮費	月額43,000円
食費	月額20,000円(4~7月、10~翌1月) 10,000円(翌2月) (食費のみ総額170,000円 一食あたり約334円)

入寮の手引き

対象 長崎外国語大学・長崎外国語短期大学の女子学生、長崎市・西彼杵郡内等の大学・短期大学に通学する女子学生
・入寮時には入寮申込書やそのほか必要書類を提出していただき

ます(提出先:寮受付または長崎外国語大学・短期大学学生支援室学生係)

・年度中途の退寮は認めていませんが、入寮は各月ごとに可能です(入寮希望2週間前くらいまでに申し込んでください)

問い合わせ先

長崎外国語大学・短期大学
アンペロス寮095-881-3100
学生支援室寮務係095-840-2002
E-mail:amperes@tc.Nagasaki-gaigo.ac.jp



2006年度アンペロス誕生会報告

アンペロス寮では2006年度からはじめた誕生会(各月開催、但し3月分は2月分と同時開催)を皆さんにより楽しんでもらうために10月から催し物を実施しています。

4月~翌2月(8月は7月、3月は2月、9月は10月に合同開催:各月に誕生日を迎える皆さんにケーキとメッセージカード・プレゼントを贈呈)		
催し物		
10/26	フラメンコ	長崎外国語大学・短期大学 フラメンコ部
11/22	バンド演奏	長崎外国語大学・短期大学 重音楽部
12/14	バンド演奏 ピアノ演奏 ギター演奏	長崎外国語大学・短期大学 軽音楽部 長崎外国語大学学生
12/21 クリスマス会	バンド演奏	県立長崎シーボルト大学 軽音楽部 (3グループ出演)
2007 1/18	民謡舞踏 津軽三味線	芳篤会(よしあつかい) 時津・横尾地区 津軽三味線石井流 石井秀武さん
2/9	ギター演奏	ギターデュオ「美月(うづき)」

寮母さんからのことば

誕生会で催し物を始めた理由として、今までよりもっと寮生皆が同じ空間で楽しむ事ができ「アンペロス寮に入って良かった!」「入ってみたい!」との声をもっと広がってほしいという想いからです。

まずは心に残る企画にしようという目標に向かって、手さぐりながらチャレンジしました。

初めに、出席してもらえよう1人1人の誕生日カードに一言書き添えました。そしてポスター作り、会場作り、一番大変だったのが出演者でした。そんな時一人の生徒さんに声を掛けた所フラメンコをサークルの皆で踊ってくれるという事でした。これがきっかけで11月・12月と寮生の人たちの口コミから外大・短大・シーボルト・九医学の生徒さんたちに伝わり、友達から友達またその知り合いなどと、学校の垣根を越えてアンペロス寮の誕生会に、気軽に出演して頂けるようになりました。(本当に有難いです!)

皆、時には静かに時には笑顔で、また時には踊りまくったり!皆の表情を見ていると嬉しくて、催し物をやって良かった!と思っています。

また、これをきっかけに「あまり話した事とかない人と友達になった!」とか、留学生の人たちは「日本に来て初めて見ました。感動しました!」等の声を聞く嬉しさも2倍です。おかげで私達寮母も以前にも増して皆と交流ができ、嬉しかった事や悩み事も話しに来てくれる事が多くなりました。

これからも1カ月に1回ではありますが、皆の声を聞きながら、学生生活及び寮生活が楽しく、思い出に残るような誕生会にして行きたいと思っています。

出演者募集!!

アンペロス寮では月に一度誕生会を催していますが、その際お祝いのためのステージ出演していただく方を募集しています。対象はバンド演奏、ソロ楽器演奏、ピアノ弾き語り、舞踊などです。くわしくはアンペロス寮(095-881-3100)へお問い合わせください。



退職者紹介



マリールース ジェフリー・デイヴィス 高橋美知子 岡部悦子 ロレッタ・ロレンツ

アメリカ、シカゴ生まれのロレッタ・ロレンツ教授。変わらない微笑みが印象的である。もし英語が40%以下の理解であつても笑顔と努力を忘れないで語りかける先生。優しい人柄は、在校生は勿論二十年もの間卒業生から愛され、親しまれてきた。今後は非常勤講師として引き続き本学で教えられる。

大学で四年間奉職された日本語コースの岡部講師。留学生の心強い味方。先生もまた笑顔が素敵で大方である。新婚ホヤホヤで愛する旦那様が待つ地元千葉県へ戻られる。今後は早稲田大学日本語教育研究センターで同じく留学生

に日本語を教えられる。大学で二年間奉職された英語アメリカコースの高橋講師。小柄な体でエネルギッシュに口マンチックにアメリカ文学を語り、エレガントな笑顔で学生達を魅了した。今後は古巣の福岡大学に移って教鞭をとられる。

外国人講師フランス語のマリールース先生、英語のジェフリー・デイヴィス先生もそれぞれ母国のフランス、カナダへ帰国される。ネイティブ教師として学生達に国際交流の心を根付かせる大きな役割を果たされた。別れはいつも寂しい。また会う日まで神の恵みたえせず共にあれ(讃21/465番)

平成十八年度第三回長崎外国語大学第五十六回長崎外国語短期大学卒業証書・学位記授与式
日時：平成十九年三月十六日(金) 十時三十分より
場所：とぎつカナリーホール
開式後、前奏・讃美歌斉唱・聖書朗読・祈祷のち大学・短期大学の卒業生に卒業証書・学位記が授与されました。学長による式辞があつた後、卒業生に対して同窓会長からの祝辞が送られました。そして在学生代表による送辞、卒業生代表による答辞が述べられ、卒業生から卒業記念品が贈られました。讃美歌合唱・後奏をもつて卒

業証書・学位記授与式は閉式しました。式後場所をホテルニュー長崎に移し、卒業パーティが開かれました。会場では、語学の高い目標を達成した学生に送られる学長奨励賞の授与式も行われました。大学・短大時代を共にした学友と思いを語らい、互いの門出を祝福の場となりました。



平成十九年度第七回長崎外国語大学第五十八回長崎外国語短期大学入学式
日時：平成十九年四月二日(月) 十時より
場所：本学ホール
【式次第】開式・前奏・讃美歌斉唱・聖書朗読・祈祷・学長式辞・新入生の誓い・讃美歌斉唱・後奏式終了後大学・短大保護者懇談会開催
本年度は保護者の皆様の要望も強かつたため、キャンパス移転以来初めて本学での開催となりました。(詳細は次号に掲載致します)

新規奨学金制度

長崎外国語大学・短期大学では、新年度からの新奨学金制度を企画しています。創立六十周年記念奨学金制度(短期大学)

入学後の英語ブレースメントテストで優秀な成績をおさめた五名に三十万円(年間教育充実費相当)の奨学金を授与します。短大生対象(スカラシップ入試合格者を除く)で、二〇〇七年度から実施します。

授業料奨学融資制度(大学・短期大学)
大学4年次及び短期大学2年次在籍学生を対象に提携銀行からの融資額(大学4年次秋学期授業料相当分)の利子の半年分を当該年次最後の月まで本学が負担します。今年度二〇〇七年度からの実施が決定していますが、将来的には低年次からの適用も検討中です。

これまでのスカラシップ入試奨学金や派遣留学奨学金、勤労奨学生制度は継続して行いますが、金額や受給資格・人数等に変更がある場合があります。

(以下は現在検討中のものです)
長崎外国語大学及び長崎外国語短期大学の卒業生・在籍学生の親族に関する入学金減免制度(仮称・大学・短期大学 長崎外国語短期大学・大学の卒業生及び在籍学生の2親等以内の親族で大学または短期大学へ入学を認められた方を対象の制度)

優良学生支援奨学金制度(仮称・大学・短期大学 優秀な成績を修めている学生で、経済的支援を要すると本学から認められた学生への奨学金制度)
特別奨学金(第 種、第 種)
(仮称・大学 大学への推薦入試合格者およびAO入試で早期に合格した方が対象の奨学金制度)

編集後記

「コミュニケーション」について考えてみたい。私達の成熟社会では、言葉遣いからライフプランの構成、思想信条の形成に至る諸行為に規範意識が希薄化している。円滑な「コミュニケーション」には、広範な蓋然性を縮減する諸条件が必要だが、ここで新たな規範の要請は無意味だ。何れにせよ成立後にも微細な能記と所記の誤接(誤配)は生じるのであり、巷間に膾炙する「コミュニケーション」の不全とは、「コミュニケーション」の斯様な原理的論理的(不)可能性に大きく依拠する。而してかの首為はシジュフォスの徒勞に近似する(不条理自体が交換・消費され得る)。そしてその軋轢は拡大し、現状如何なる知識の多寡が問題なのか判然としない。インターネット世界はその「量」が「質」を凌駕することを示唆するが、翻って個々人の「現実

の」振舞いでは、情報化社会の有り様を踏まえ、言われたことそれ自体よりも伝達の精度を注視する第二段階の「質」の希求が問題となる。教育・研究での知的生産力の向上は、畢竟「コミュニケーション」の精度の高まりと等価だ。ではどうすればよいのか。さしあたり原理的な(不)可能性を留意しつつ、各伝達・交換の所を事実確認的にも遂行的にも効果的に編成することである。最終的に増殖・拡大した諸行為の論理的蓋然性を美学的・倫理的なるものへと接続することが、「コミュニケーション」ということばに賭けられていると考える(洲加本)

御礼

長崎市横尾連合会(会長緒方重昭氏)は、長崎市に強く要望して、暗かつた本学アネロア寮沿いの道路を夜間往復する学生の安全確保のため、道路沿いの街灯を明るくして下さいました。ありがとうございました。